

スマートフォン着脱式バーコードリーダー
iDC9277LB
ユーザーズマニュアル



株式会社ウェルキャット

商標について

- ・ Bluetooth は Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、RIOTEC はライセンスに基づいて使用しています。
- ・ Android は Google LLC. の商標または登録商標です。
- ・ iOS は Apple Inc. の OS 名称です。IOS は Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ・ 本書の著作権は株式会社ウェルキャットにあります。
- ・ 本書の一部または全てを無断で使用、複製することはできません。
- ・ その他記載されている製品名および会社名は、それぞれの企業の登録商標または商標です。

必ずお読みください

- ・ 本書は RIOTEC 社製スマートフォン着脱式バーコードリーダー iDC9277LB について記載しています。
- ・ 本製品を使用する前に必ず本書をお読みになり、内容をご理解頂いたうえで正しくご使用ください。
次ページ以降の「正しく安全にお使い頂くために」の記載に反した、誤った取り扱いによって生じた本製品の故障・不具合および接続機器（スマートフォン、タブレット等）の故障・不具合は保証対象とはなりません。
また、これらの故障・不具合によるデータの消失や破損についてはその責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- ・ 本製品は、すべての Bluetooth 搭載機器（スマートフォン、タブレット等）との接続／動作、およびすべての OS の種類、バージョンでの接続／動作を確認したものではありません。
また、電波環境や、機器設定および運用するアプリケーションプログラム等の使用環境によっては、Bluetooth 接続やデータ転送等に問題が発生する場合があります。
本製品で正しく読取れるバーコードデータの上限は 500Byte です。上限値を越える媒体では正しくバーコードが読取れない場合があります。
本製品では、漢字などの 2Byte 文字が含まれるバーコードデータは正しく読取れません。
本製品のご使用に際しては、実運用に即した環境で実機による動作検証を行い、問題なく運用が可能なのを確認することを推奨いたします。
- ・ 接続機器の仕様や性能等、接続機器側の問題により発生した本製品の動作不良については、弊社での対応が困難なことがございますのであらかじめご了承ください。
- ・ 製品の内容は、改良やバージョンアップなどにより、予告無く変更することがあります。
- ・ 本書は必要ときに直ぐに読めるように保管し、不明な点は本書を参照して正しく取り扱うようにしてください。

正しく安全にお使い頂くために

RIOTEC 社スマートフォン着脱式バーコードリーダーをお買上げ頂きまして誠にありがとうございます。

ご使用前に本書をよくお読みになり、製品を適正に使用および保守することが重要です。製品の仕様・機能・内容の確認に努め、使用する際には表示・本書をよく読み、事故につながるような使い方をしないように心がけましょう。製品の保守・点検をこまめに行うことも大切です。表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明します。表示は危険の程度で分類されています。



この表示を見逃して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される緊急性が高い内容を示しています。



この表示を見逃して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



この表示を見逃して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

以下の絵表示は、お守り頂く内容区分を説明しています。



このような絵表示はしてはいけない「禁止」であることを示します。図の中に具体的な禁止の内容が示されています。



このような絵表示は必ずして頂く「強制」であることを示します。図の中に具体的な指示の内容が示されています。



このような絵表示は注意を促す内容であることを示します。図の中に具体的な注意の内容が示されています。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するためにも、次の事柄は必ずお守りください。

必ずお守りください



本製品を使用する場合は、ご使用の接続機器のメーカーが指示している危険、警告、注意の表示も厳守してください。

危険



充電は、同梱されている Micro USB 充電用ケーブルを使用しスマートフォン等のデバイス付属の USB 充電器または PC の USB ポートにつないで行ってください。



高温になる場所（火やストーブのそば、炎天下の車内など）や引火性ガスの発生する場所での使用、放置、充電はしないでください。

漏液、発熱、破裂、発火、故障の原因となります。



電子レンジや高圧容器などの中に入れないでください。

漏液、発熱、破裂、発火、故障の原因となります。



火の中に投入したり、加熱したりしないでください。

漏液、発熱、破裂、発火、故障の原因となります。

警告



充電の際、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

漏液、発熱、破裂、発火、故障の原因となります。



読取り光を人の目に向けないでください。

読取り光が目に入ると一時的に視力に障害をきたす恐れがあります。



分解、改造をしないでください。

けがや感電、火災などの事故または故障の原因となります。内部の点検、調整はお買上げの販売店にお任せください。万一、改造などにより生じた問題については、一切の責任を負いかねます。



異物を機器の内部に入れないでください。

もし、内部に異物や液体が入った場合は使用を中止し、お買上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電、火災などの事故または故障の原因となります。



水や海水などに浸けたり、濡らしたりしないでください。

漏液、発熱、破裂、発火、故障の原因となります。



薬品や油に近づけないでください。

薬品や油に触れる場所や薬品や油のそばで使用、保管しないでください。感電、火災などの事故または故障、破損の原因となります。



落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。

漏液、発熱、破裂、発火、故障の原因となります。



持ち運びのときには、ハンドストラップが引っ掛からないようにしてください。

ハンドストラップの取扱いには十分注意してください。ハンドストラップが他の物に引っ掛かると、けがや事故の原因となります。

注意

高温となる場所、湿気・ほこりの多い場所で使用・保管しないでください。



火のそば、直射日光が当たるところなど高温になる場所での使用や保管は避けてください。火災などの事故またはケースの変形や故障の原因となります。また湿気、ほこりの多いところでの使用や保管は避けてください。感電、火災などの事故または故障の原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を扱う電子機器の近くでは使用しないでください。



電子機器(医療用電子機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など)が誤動作するなどの影響を与えることがあります。

乳幼児の手の届くところに置かないでください。



けがなどの原因となります。

不安定なところに置かないでください。



機器が落ちたり倒れたりして、けがや機器の故障の原因となります。

必ず手に取って操作してください。



床や机に置いたままの状態で操作をすると機器の故障や誤作動の原因となります。

PC や蛍光灯、電子レンジなどのノイズを発する機器からはなるべく離して使用してください。



ノイズの影響により正常に通信できなくなる場合があります。

磁石、ブザー、スピーカ、ブラウン管や、RFID のアンテナ近くなど、強い磁界が発生する恐れがあるところで使用、保管しないでください。



本体の誤動作や故障の原因となります。

本製品は、事務用、産業用などの一般的用途を想定したものであり、以下のような高度な安全性が要求される用途での使用を想定した製品ではありません。



・陸上、海上、航空輸送ならびに交通の運行制御管理、原子力核施設の制御管理、生命維持装置の制御管理など

弊社は、このような生命、人体、環境に対し重大な危険性を伴う用途での使用により発生した損害に対し、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

電波に関する注意

- 本製品は電波法に基づく工事設計の認証を受けた無線設備を内蔵しています。
- 本製品を分解したり、本製品の内部に触れたりすることは電波法で禁止されており、法律で罰せられることがあります。故障の際の内部点検、調整はお買上げの販売店にお任せください。
- 本製品は次のような場所で使用しないでください。
 - ・心臓ペースメーカーや人命にかかわる医療機器の近く。これらに電磁妨害を及ぼす恐れがあります。
 - ・電子レンジの近く、2.4GHz 付近の電波を使用している機器の近く。これらによって本製品への電磁妨害が発生することがあります。
- 本製品の使用周波数帯では、以下の機器や無線局が運用されます。
 - ・産業／科学／医療用機器
 - ・無線 LAN 製品、Bluetooth 製品
 - ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局（構内無線局〔免許を要する無線局〕、特定小電力無線局〔免許を要しない無線局〕）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）
- 本製品を使用する場合、上記の機器や無線局との電波干渉を防ぐため以下に注意してください。
 - ・本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 - ・万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止するか使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

本製品の電波について

使用周波数帯域	2.4GHz 帯
変調方式	FH-SS 方式
想定干渉距離	10m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

注意

本機は日本国内でのみ使用可能です。海外では電波規格が異なるため使用できません。

目次

商標について	1
必ずお読みください	1
正しく安全にお使い頂くために	2
必ずお守りください	3
電波に関する注意	6
目次	7
本書の見方	9
■本書の構成	9
■表記上の注意	9
システム体系	10
■製品構成	10
第1章 製品・使い方	11
1-1 製品について	12
1-1-1 同梱品の確認	12
1-1-2 各部の名称と機能	13
■LED表示とビープ音	15
■操作キーの名称	16
1-2 本体の使い方	17
1-2-1 ハンドストラップの取付け	17
1-2-2 起動・終了	18
1-2-3 内蔵バッテリーの充電	19
■充電方法	20
1-2-4 バッテリーのアラーム	22
1-2-5 リセット	22
1-2-6 製品の装着	23
1-2-7 Bluetooth 接続	24
■iOS (Ver. 11.1.1) との接続例	24
■Android (Ver. 8.0.0) と HID での接続例	26
■Android (Ver. 8.0.0) と SPP での接続例	28
1-2-8 バーコード読取り確認方法	31
■iOS でのバーコード読取り確認方法	31
■Android でのバーコード読取り確認方法	37
1-2-9 バーコードの読取り方	38
■読取り方	38
■照準パターンの合わせ方	38
■読取り深度	39
■読取り光の当て方	39
■バーコードと照準パターンの角度	39
1-3 お手入れのしかた	40
■手入れが必要な部位	40
■清掃方法	40

第2章 各種設定	41
2-1 動作設定	42
2-1-1 設定の初期化	42
2-1-2 プロファイル設定	43
2-1-3 ソフトウェアキーボード起動・停止	44
2-1-4 スキャナーモード	45
2-1-5 データ転送速度	45
2-1-6 メモリモード制御	46
2-1-7 省電力モード移行時間	46
2-1-8 バーコード読取り日時情報	47
2-1-9 日付形式変更	47
2-1-10 日付時刻	48
2-1-11 キーボードレイアウト	48
2-1-12 プリフィックス、サフィックス	49
2-2 バーコード読取り設定	50
2-2-1 読取り種別設定	50
2-2-2 チェックデジット設定	53
2-2-3 アドオンコード設定	55
2-2-4 スタート/ストップキャラクタ設定	58
2-2-5 Code39 フルアスキーコード設定	59
2-2-6 GS1-DataBar 商品コード識別子設定	59
2-2-7 反転バーコード読取り設定	60
第3章 仕様	61
3-1 製品の仕様	62
第4章 よくある質問と回答	64
4-1 よくある質問と回答	65
第5章 保証・修理	69
5-1 製品保証	70
■製品保証について	70
5-2 修理および消耗品	71
■修理について	71
■消耗品	71
付録	72
付録-1 出荷時設定一覧	73
付録-2 数字バーコード一覧	76
付録-3 プリフィックス、サフィックスコード一覧	77
付録-4 16進数バーコード一覧	78

本書の見方

■ 本書の構成

本書は、次の内容で構成されています。

システム体系	本製品のシステム構成の全体を説明しています。製品のご理解にお役立てください。
第1章 製品・使い方	本製品各部の説明、バーコードの読取り方、使い方について説明しています。
第2章 各種設定	本製品で設定できる内容、設定方法について説明しています。
第3章 仕様	製品の仕様一覧です。
第4章 よくある質問と回答	よくある質問やトラブル、それらを解決するために確認する必要がある項目について説明しています。
第5章 保証・修理	製品保証および修理について説明しています。
付録	出荷時設定などが記載されています。

■ 表記上の注意

本書では、次の表記が使用されています。

	守って頂きたい事項、操作上の注意を要する事項を記載しています。この記載をよくお読みになり、必ず指示に従ってください。
	役立つ情報やヒントとなる情報を記載しています。
	関連する情報が記載されているページを紹介しています。
本製品/本体	スマートフォン着脱式バーコードリーダー本体のことです。
デバイス	iOS、Android 搭載のスマートフォンやタブレットのことです。

システム体系

■製品構成

本製品を使用するための基本的な製品構成です。必要に応じてご用意ください。



第1章

製品・使い方

1-1 製品について

1-1-1 同梱品の確認

本製品には、次の製品が同梱されています。全てが揃っていることをご確認ください。

万一、不足品、不良品等がありましたら、弊社までご連絡ください。

充電器は同梱しておりません。市販の製品を別途ご用意ください。

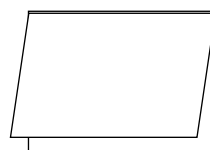
PC の USB ポートでも充電できます。本製品の USB コネクタは Micro-B タイプとなります。



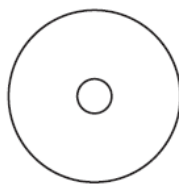
iDC9277LB



ハンドストラップ



初めにお読みください
(ペラマニュアル)



ユーザズマニュアル
CD-ROM



Micro USB 充電用ケーブル



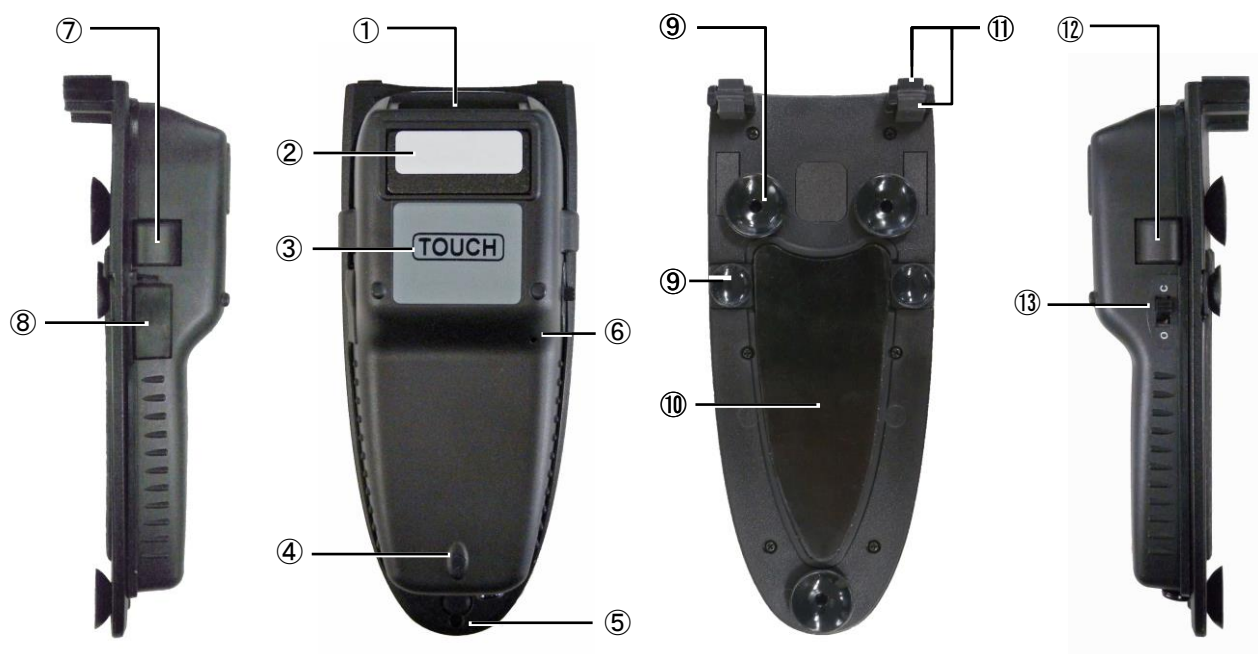
参照

ユーザズマニュアル CD（本書）は、1 オーダーにつき 1 枚同梱されています（ご購入台数によらず、1 回のオーダーにつき 1 枚が付属します）。

注意

同梱品以外の Micro USB 充電用ケーブルを使用すると本体に引っ掛かって挿せない場合があります、無理に挿すとコネクタを破壊する恐れがあります。

1-1-2 各部の名称と機能



番号	名称	説明
①	スキャナー窓	バーコードの読取り口です。 ※LED 光が照射されるので、のぞきこまないでください。
②	シリアルラベル	シリアル番号、Bluetooth デバイス名が記載されています。
③	タッチセンサー および製品銘板	バーコードを読取る際に使用します。 省電力モードから復帰時に使用します。 スイッチを「○：操作モード」の状態 で 2 秒以内に 3 回触れると省電力 モードから復帰します。 また製品名、製造元などが記載されています。
④	LED	LED が情報を表示します。
⑤	ハンドストラップ 取付け用穴	ハンドストラップを取付けます。
⑥	リセットボタン	本製品の状態をリセットしたいときに使用します。 ※設定は初期状態には戻りません。

番号	名称	説明
⑦	右ボタン	・バーコードを読取るときに使用します。 ・メモリのデータ転送を中断したいときに使用します。 メモリのデータ転送の中断は、5 秒長押しします。 ・ソフトウェアキーボードの起動・停止に使用します。 ソフトウェアキーボードの起動・停止は、スイッチを「O：操作モード」の状態ですボタン・左ボタンのいずれかを押しながら 2 秒以内に反対側のボタンを 3 回押します。 ※ソフトウェアキーボードの起動・停止には、接続デバイスに合わせた設定が必要になります。 ・ペアリング解除に使用します。 ペアリング解除は、スイッチ「C：充電モード」の状態ですボタン・左ボタンを同時に 4～6 秒押します。 ※再度ペアリングをする場合は、スイッチを「O：操作モード」に切り替える必要があります。 ・省電力モードに移行するときに使用します。 省電力モードへの移行は、スイッチ「O：操作モード」の状態ですボタン・左ボタンを 2 秒以内に同時に 3 回押します。
⑧	USB コネクタ (充電専用)	本製品の USB は Micro-B タイプになります。 Micro USB 充電用ケーブルを接続して充電します。
⑨	吸盤 (大・小)	本製品をスマートフォンなどのデバイスに貼り付けるのに使用します。
⑩	粘着クッション	本製品をスマートフォンなどのデバイスに貼り付けるのに使用します。
⑪	クッション	スマートフォンなどのデバイスの位置を合わせてずれを抑えます。 またデバイスへの衝撃をやわらげたりします。
⑫	左ボタン	右ボタンと同一の仕様になります。 ※⑦右ボタンの説明欄を参照してください。
⑬	スイッチ	本製品を充電するときに使用します。 またソフトウェアキーボードの起動・停止に使用します。 C：充電モード (ソフトウェアキーボード起動) O：操作モード (ソフトウェアキーボード停止) ※ソフトウェアキーボードの起動・停止には、接続デバイスに合わせた設定が必要になります。

■LED 表示とビープ音

LED 表示とビープ音は、次のような動作状態を表します。

使用状態	LED	ビープ音	説明
バーコード スキャン中	橙色点滅（高速）	ピロリン	起動中（省電力モードから復帰）
	赤色点灯	なし	オフライン（Bluetooth 未接続）
	消灯	なし	オンライン（Bluetooth 接続）
	橙色点滅（低頻度）	ピッ （継続）	ローバッテリー（電池残量少）
	（変化なし）	ピロリ	設定バーコード読取り（設定途中）
バーコード 読取り完了	緑色点灯	ビッ	バーコード読取り（データ転送モード）
	橙色点灯	ビッ	バーコード読取り（メモリモード）
	赤色点滅	ビビビ	設定バーコード読取り、または キー操作による設定変更（設定完了時）
Bluetooth 接続中	赤色点灯 ※Android	ビビビ	ソフトウェアキーボード（起動・停止）
		ピッピッピッ （継続）	ソフトウェアキーボード（起動中）
	緑・橙くり返し ※iOS	ビビビ	ソフトウェアキーボード（起動・停止）
省電力中	消灯	なし	省電力モード（終了）
充電中 USB 接続時	赤・橙・消灯くり返し	なし	充電中
	橙色点灯	なし	充電完了
	橙色点滅	トゥートゥー （継続）	充電エラー

省電力モードでは充電しても LED が点灯しません。

注意

充電中に LED が点灯していないときはスイッチを「O：操作モード」の状態タッチセンサーを 2 秒以内に 3 回触れて省電力モードから復帰してください。

■ 操作キーの名称

操作キーの名称は、次のようになっています。



1-2 本体の使い方

1-2-1 ハンドストラップの取付け

ハンドストラップの取付け用穴は本製品の下部にあります。

使用する場合は以下の手順で取付けてください。

- ①細いほうのひもを、取付け用穴に通します。
- ②太いほうのひもを、取付け用穴に通した細いひもに通して固定します。



注意

- ・ ハンドストラップを持って本体を振り回さないでください。細いひもの部分が摩耗し、切れる恐れがあります。
- ・ ハンドストラップに腕を通した状態で本体が可動機器などに挟まれるなどした場合、手を引き込まれ、思わぬ事故の原因となりますので十分注意してください。

1-2-2 起動・終了

本製品には、消費電力を節約できる省電力モードがあります。本製品の使用を終了する場合は、省電力モードにしてください。

お買い上げ直後は、省電力モードから復帰して起動させますが、復帰のための操作をしても起動しないときは、内蔵バッテリーが空になっている可能性があります。その場合は充電をしてからご使用ください。（「1-2-3 内蔵バッテリーの充電」（P. [19](#)）参照）

省電力モードからの復帰方法は以下となります。

スイッチを「○：操作モード」の状態タッチセンサーを2秒以内に3回触れる。

省電力モードへの移行方法は以下となります。

無操作状態で5分（出荷時設定）経過するか、スイッチを「○：操作モード」の状態右ボタン・左ボタンを2秒以内に同時に3回押す。

省電力モードへ移行するまでの無操作状態の時間は変更することが可能です。

（「2-1-7 省電力モード移行時間」（P. [46](#)）参照）

注意

- ・省電力モードでは、バーコード読取りや通信などは出来なくなります。
 - ・スイッチが「C：充電モード」の状態では、手動による省電力モードへの移行および省電力モードからの復帰ができませんので注意してください。
 - ・空になったバッテリーを充電した場合は、省電力モードではなくなりますので注意してください。
-

1-2-3 内蔵バッテリーの充電

本製品には充電式バッテリーが内蔵されており充電できます。

充電器は同梱しておりません。スマートフォン等のデバイス付属または市販の USB 充電器を別途ご用意ください。PC の USB ポートでも充電できます。本製品の USB コネクタは Micro-B タイプとなります。

お買い上げ直後、省電力モードからの復帰のための操作をしても起動しないときは、内蔵バッテリーが空になっている可能性があります。その場合は充電をしてからご使用ください。（「1-2-2 起動・終了」 (P. 18) 参照）

省電力モードでも、長期間充電せずに放置すると内蔵バッテリーが空になることがあります。その場合は充電をしてください。

- ・充電は 0℃～40℃の環境で行ってください。この温度範囲外の場合、充電エラーになり充電が停止します。

充電エラーになっても、適正温度になると充電が再開されますが、故障の原因となりますので、0℃～40℃の範囲外では使用しないでください。

- ・本製品と Micro USB 充電用ケーブルが正しく接触していない場合や充電が規定時間を過ぎても完了しない場合、または内蔵バッテリーの電圧が異常な場合は、充電エラーになることがあります。その場合は、直ちに充電を中止してください。

USB コネクタを清掃しても充電エラーになる場合は、弊社にお問合せください。

注意

- ・充電しても起動しない、極端に短い時間でローバッテリーが発生するなどの場合は、以下のことが考えられます。

□内蔵バッテリーの劣化

バッテリーは、充放電を繰返すうちに劣化し、充電可能な容量が低下します。

使用時間が短くなり運用に耐えられなくなった場合は、新しいバッテリーに交換が必要になります。（「5-2 修理および消耗品」 (P. 71) 参照）

□USB コネクタの接触不良

USB コネクタがゴミなどで汚れている場合は、接触不良により正常に充電できない場合があります。その場合は、綿棒などで拭いて清掃してください。

■ 充電方法

次の手順で充電します。

- ① 本製品の側面にあるスイッチを「C：充電モード」に切り替えます。



- ② 逆側にある USB コネクタカバーを開けてコネクタに Micro USB 充電用ケーブルの向きを合わせて挿し込みます。スマートフォン等のデバイス付属または市販の USB 充電器や、PC をご用意頂き接続して充電します。接続後 LED が赤点灯・橙点灯・消灯をくり返すことを確認してください。



- ③ 充電が終わり、再び使用する前にスイッチを「O：操作モード」に戻します。

- ・スイッチを「C：充電モード」に切り替えるとソフトウェアキーボードの起動の機能も動作します。
- ・スイッチが「O：操作モード」になっていると、Micro USB 充電用ケーブルを接続しても充電しません。充電するときは必ずスイッチを「C：充電モード」に切替えてください。

また充電が終わったら「O：操作モード」に戻してからご使用ください。

「C：充電モード」になっていると使用できません。

注意

- ・充電中はバーコードを読取ることはできません。
- ・USB 充電器は別途ご用意ください。
- ・同梱品以外の Micro USB 充電用ケーブルを使用すると本体に引っ掛けて挿せない場合があります、無理に挿すとコネクタを破壊する恐れがあります。
- ・省電力モードでは充電しても LED が点灯しません。

充電中に LED が点灯していないときは、スイッチを「O：操作モード」の状態タッチセンサーを 2 秒以内に 3 回触れて省電力モードから復帰してください。

●充電状態

本製品の充電状態はLEDに表示されます。

LED	ビープ音	説明
赤・橙・消灯くり返し	なし	充電中
橙色点灯	なし	充電完了
橙色点滅	トゥートゥー（継続）	充電エラー

省電力モードでは充電してもLEDが点灯しません。

注意

充電中にLEDが点灯していないときは、スイッチを「O：操作モード」の状態タッチセンサーを2秒以内に3回触れて省電力モードから復帰してください。

●本体充電時間

4～5 時間

1-2-4 バッテリーのアラーム

内蔵バッテリーの残量が少なくなるとローバッテリーのアラームが発生します。

アラームが発生したら機器の使用をやめ、ただちに充電してください。

充電されるとアラームは自動的に解除されます。

LED	ビープ音	説明
橙色点滅（低頻度）	ピッ（継続）	ローバッテリー（電池残量少）

1-2-5 リセット

誤動作や何らかの異常により本製品が正常に動作しなくなった場合などの再起動が必要なときには、ピンなどの先の細いものでリセットボタンを押してください。

リセットボタンが押されると再起動します。

なお、動作設定は初期化されません。初期化をする場合は「2-1-1 設定の初期化」（P. [42](#)）を参照してください。

注意

- ・リセットボタンの穴にはピンなどの細いものをまっすぐ入れてください。
斜めに入れるとスイッチが押されません。
-

1-2-6 製品の装着

通信相手がスマートフォンなどの平面形状のデバイスであれば、本製品の吸盤などを利用してデバイスに固定することができます。

- ①スマートフォンなどのデバイスの背面を清掃し、本製品の吸盤を装着します。
クッションに触れる位置でデバイスを装着してください。



- ②しっかり押しつけて粘着クッションとデバイスを貼り付けます。



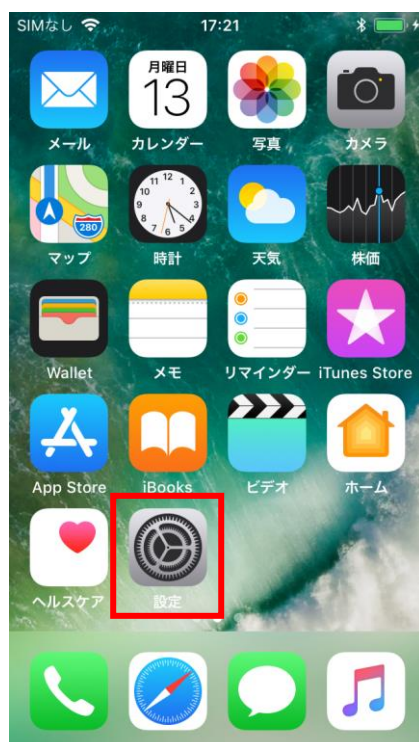
吸盤や粘着クッションのお手入れは「1-3 お手入れのしかた (P. [40](#))」を参照してください。

1-2-7 Bluetooth 接続

本製品はデバイスにバーコードデータを送信する場合、Bluetooth による接続が必要となります。
接続方法例を以下に記載します。

■ iOS (Ver. 11.1.1) との接続例

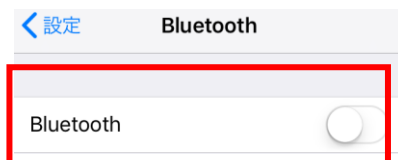
- ① 本製品の電源を ON にします。
- ② iOS デバイスのホームより、「設定」を選択します。



- ③ iOS デバイスの「設定」より、「Bluetooth」を選択します。



- ④ iOS デバイスの「Bluetooth」より、「Bluetooth」が有効の場合は、無効にします。



- ⑤ 本製品で、以下の HID プロファイル設定バーコードを a1、a2 の順に読取ります。

HID プロファイル	
a1	
a2	

- ⑥ iOS デバイスの「Bluetooth」より、「Bluetooth」を有効にします。

Bluetooth を選択すると、iOS デバイス近くの Bluetooth 機器を検索します。



- ⑦ iOS デバイスの「デバイス」欄に本製品の「BT device name」が表示されますので、選択します。

※「BT device name」は本製品のシリアルラベルにある「BT device name」欄を参照してください。

※以下の図は、「BT device name」が R-A1F418 の場合となります。

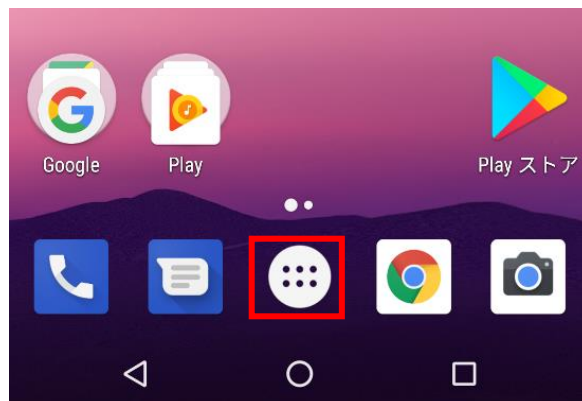


注意

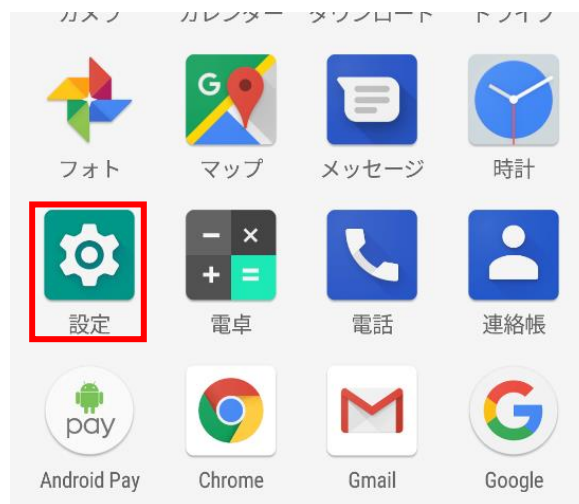
- ・ iOS は HID でのみ接続できます。
- ・ 機器により画面、機能、操作方法が異なる場合があります。

■Android(Ver. 8.0.0) と HID での接続例

- ① 本製品の電源を ON にします。
- ② Android デバイスのホームより、「メニュー」を選択します。



- ③ Android デバイスの「メニュー」より、「設定」を選択します。



- ④ Android デバイスの「設定」より、「接続済みの端末」を選択します。



- ⑤ Android デバイスの「接続済みの端末」より「Bluetooth」が有効の場合は、無効にします。



- ⑥ 本製品で、以下の HID プロファイル設定バーコードを a1、a2 の順に読み取ります。

HID プロファイル	
a1	
a2	

- ⑦ Android デバイスの「接続済みの端末」より、「Bluetooth」を有効にし、選択します。
Bluetooth を選択すると、Android デバイス近くの Bluetooth 機器を検索します。



- ⑧ Android デバイスの「Bluetooth」の「使用可能なデバイス」に本製品の「BT device name」が表示されますので、選択します。

※「BT device name」は本製品のシリアルラベルにある「BT device name」欄を参照してください。

※以下の図は、「BT device name」が R-A1F418 の場合となります。

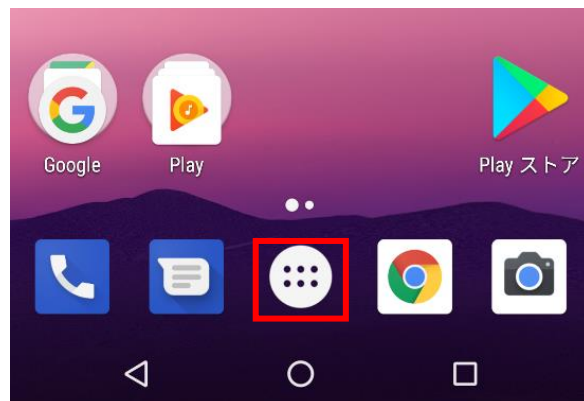


注意

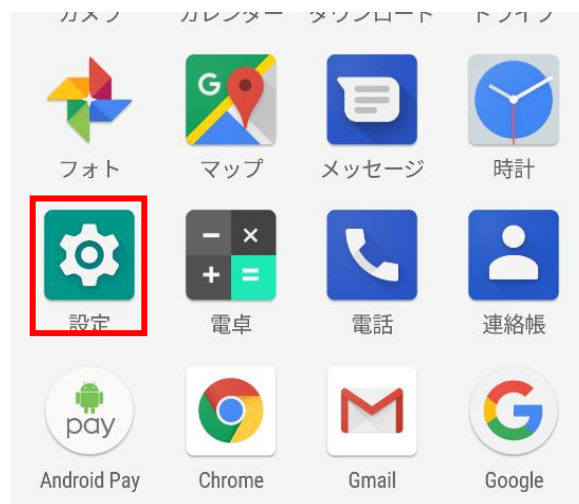
- ・機器により画面、機能、操作方法が異なる場合があります。
-

■Android(Ver. 8.0.0) と SPP での接続例

- ① 本製品の電源を ON にします。
- ② Android デバイスのホームより、「メニュー」を選択します。



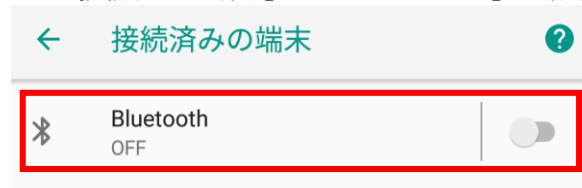
- ③ Android デバイスの「メニュー」より、「設定」を選択します。



- ④ Android デバイスの「設定」より、「接続済みの端末」を選択します。



- ⑤ Android デバイスの「接続済みの端末」より「Bluetooth」が有効の場合は、無効にします。



- ⑥ 本製品で、以下の SPP プロファイル設定バーコードを b1、b2 の順に読取ります。

SPP プロファイル	
b1	
b2	

- ⑦ Android デバイスの「接続済みの端末」より、「Bluetooth」を有効にし、選択します。
Bluetooth を選択すると、Android デバイス近くの Bluetooth 機器を検索します。



- ⑧ Android デバイスの「Bluetooth」の「使用可能なデバイス」に本製品の「BT device name」が表示されますので、選択します。

※「BT device name」は本製品のシリアルラベルにある「BT device name」欄を参照してください。

※以下の図は、「BT device name」が R-A1F418 の場合となります。



- ⑨ Android デバイスによっては、以下のように PIN コードを求められる場合があります。

PIN コードに「1234」を入力し、「OK」ボタンを押下してください。

R-A1F418をペアに設定しますか？

通常は0000または1234です

☐ PINに文字か記号が含まれる

もう一方のデバイスでも、このPINの入力が必要な場合があります。

☐ 自分の連絡先や通話履歴へのアクセスをR-A1F418に許可する

キャンセル OK

注意

- ・機器により画面、機能、操作方法が異なる場合があります。
-

1-2-8 バーコード読取り確認方法

バーコードの読取り結果が正しいかデバイス上に表示する方法を以下に記載します。

本製品の設定を行った後に以下の方法で確認をしてください。

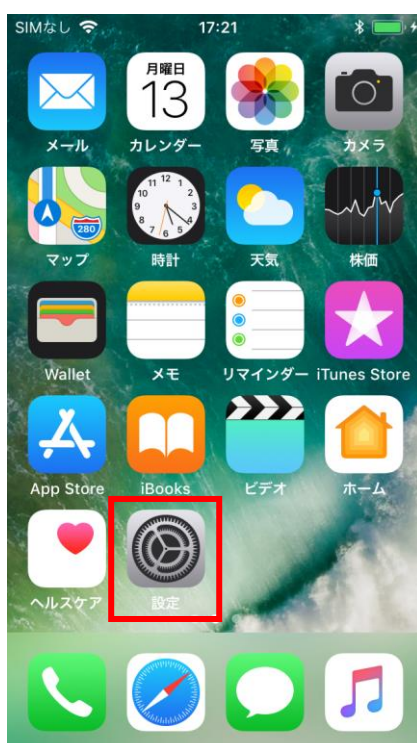
デバイスの設定が日本語キーボードの場合、アプリによっては日本語変換がかかる場合があるため、英語キーボードにしてください。

■ iOS でのバーコード読取り確認方法

- ① 本製品と iOS デバイスを接続します。

本製品とデバイスの接続方法は「1-2-7 Bluetooth 接続 (P. [24](#))」を参照してください。

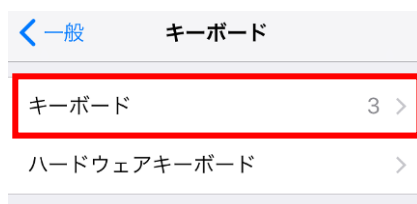
- ② iOS デバイスのホームより、「設定」を選択します。



- ③ iOS デバイスの「設定」より、「一般」、「キーボード」の順に選択します。



- ④ iOS デバイスの「キーボード」より、「キーボード」を選択します。



- ⑤ iOS デバイスの「キーボード」より、英語のキーボードのみ登録されていることを確認します。
登録されていない場合は、「英語(日本)」のキーボードを登録します。
以下のスクリーンショットは「英語(日本)」が登録されている例となります。



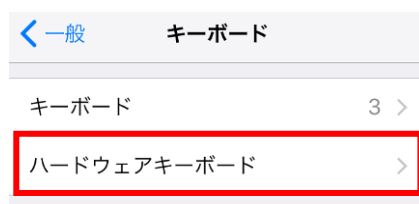
- ⑥ iOS デバイスの「設定」まで戻り、再度「キーボード」を選択します。



- ⑦ iOS デバイスの「キーボード」にて、「自動修正」、「自動大文字入力」、「予測」を無効にします。



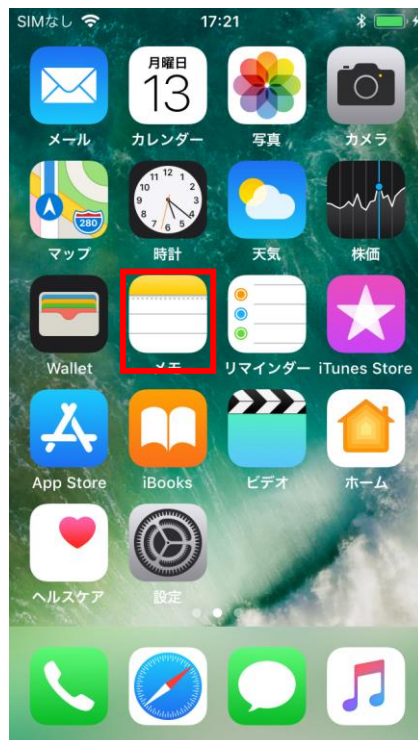
- ⑧ iOS デバイスの「キーボード」に戻り、「ハードウェアキーボード」を選択します。



- ⑨ iOS デバイスの「自動大文字入力」、「自動修正」を無効にします。



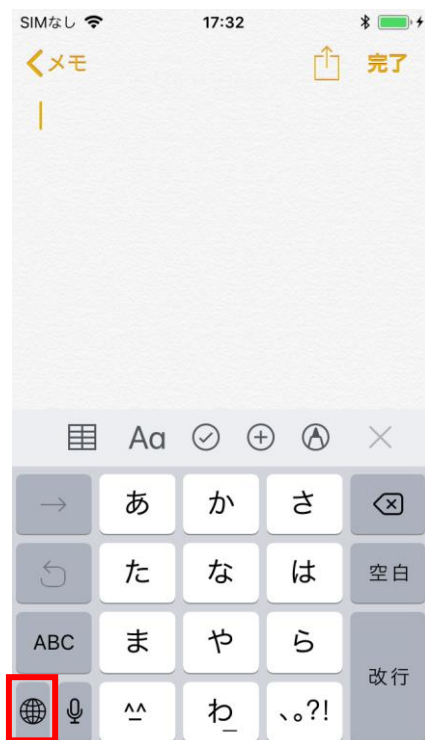
- ⑩ iOS デバイスの「メモ」アプリを開き、入力状態にします。



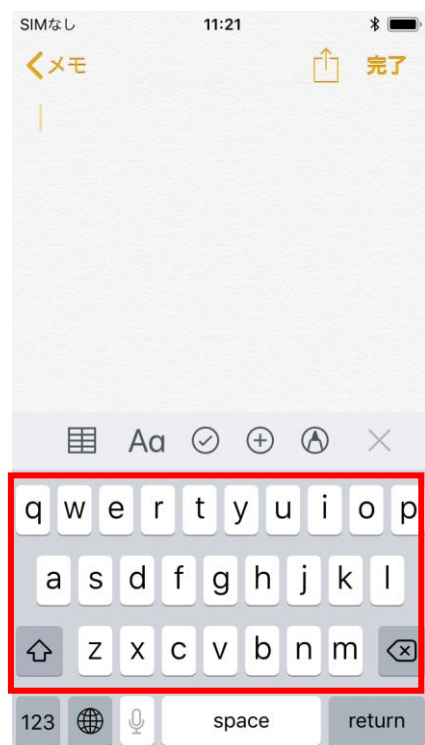
- ⑪ 本製品にて、ソフトウェアキーボードの起動・停止を有効にします。
「2-1-3 ソフトウェアキーボード起動・停止 (P. [44](#))」を参照してください。
- ⑫ 本製品のスイッチを「○：操作モード」の状態ですべてのボタン・左ボタンのいずれかを押しながら、
2 秒以内に反対側のボタンを 3 回押します。
iOS デバイスにて、ソフトウェアキーボードが起動します。

- ⑬ iOS デバイスにて、「地球」ボタンを押下し、英語キーボードに切り替えます。

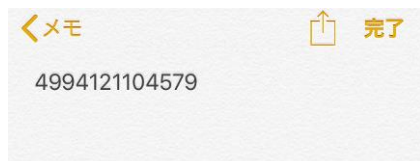
[切替前]



[切替後]



- ⑭ 本製品のスイッチを「○：操作モード」の状態です右ボタン・左ボタンのいずれかを押しながら、2 秒以内に反対側のボタンを 3 回押して、ソフトウェアキーボードを停止します。
- タッチセンサーに触れ、バーコードを読取ります。
- 以下は「4994121104579」の JAN-13 のバーコードの読取りを行った際の結果となります。



注意

- ・転送速度が速い場合、デバイス側の受信が間に合わずバーコードデータが欠ける場合があります。転送速度を落としてください。（「2-1-5 データ転送速度」（P. [45](#)）参照）
 - ・500Byte を超えるバーコードデータは、文字欠けする場合があります本製品では保証しません。
-

■Androidでのバーコード読取り確認方法

- ① 本製品とAndroidデバイスを接続します。

本製品とデバイスの接続方法は「1-2-7 Bluetooth 接続 (P. 24)」を参照してください。

- ② Androidデバイスより、メモ帳アプリを選択します。

※Androidデバイスによっては、標準でメモ帳アプリが入っていない場合があります。

GooglePlay などからメモ帳アプリをインストールしてください。

- ③ メモ帳アプリを入力状態にします。

- ④ 「キーボード」を選択します。



- ⑤ Androidデバイスの「キーボードの変更」より、英語キーボード(以下の画面では、Gboard)を選択します。



- ⑥ タッチセンサーに触れ、バーコードを読取ります。

以下は「4994121104579」の JAN-13 のバーコードの読取りを行った際の結果となります。

4994121104579

注意

- ・転送速度が速い場合、デバイス側の受信が間に合わずバーコードデータが欠ける場合があります。転送速度を落としてください。（「2-1-5 データ転送速度」(P. 45) 参照）
- ・500Byte を超えるバーコードデータは、文字欠けする場合があります本製品では保証しません。

1-2-9 バーコードの読み取り方

■読み取り方

バーコードを読み取る時は、前面の読み取り口をバーコードに向け、右ボタン、左ボタンのいずれかを押します。またはタッチセンサーに触れます。



注意

読み取り口からはLED光が照射されます。のぞき込んだり、LED光を目に当てたりしないでください。

■照準パターンの合わせ方

バーコード読み取り時は、LED光の中に赤い照準パターン（下図参照）の菱形が投影されます。菱形の中心とシンボルの中心を合わせて読み取ります。

照準パターンは、スキャナーをシンボルに近づけると小さくなり、シンボルから離すと大きくなります。シンボルのバーの幅が小さい場合はスキャナーを近づけ、バーの幅が大きい場合はシンボルから離して読み取りを行います。

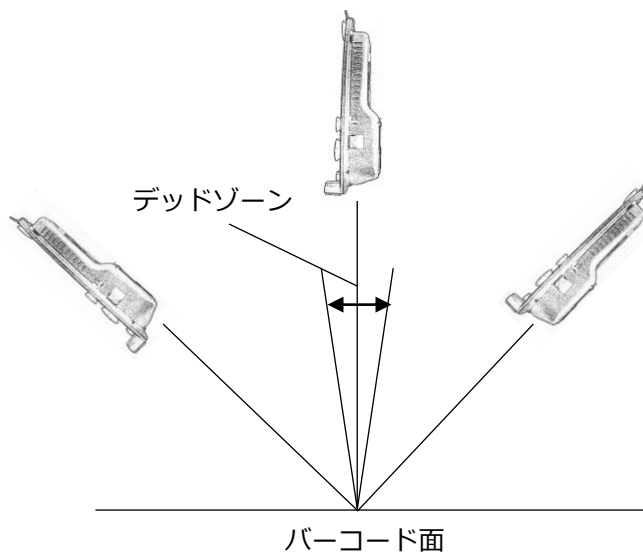


■ 読取り深度

読取り深度とは、バーコードを読取り可能な、バーコードと本体の距離のことです。バーコードの種類によって、読取り深度が変わります。読取りにくい場合は、バーコードと本体の距離を変えて、再度読取ってください。

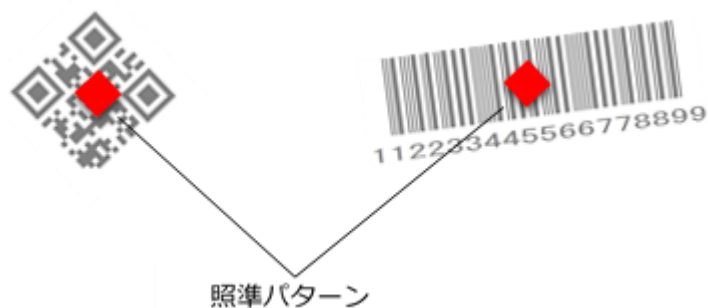
■ 読取り光の当て方

バーコードに対して、読取り光を垂直に当てると、正反射の影響により読取りにくい場合があります（デッドゾーン）。上手く読取れない場合は、バーコードに当たる読取り光の角度が変わるように、本体の傾きを変えて再度読取ってください。



■ バーコードと照準パターンの角度

バーコードは 360° 全ての角度から読取りが可能です。



1-3 お手入れのしかた

■ 手入れが必要な部位

- ・ 読取り口

読取り口のスキャナー窓が汚れていると、バーコードを正しく読取れない場合があります。

- ・ 粘着クッション、吸盤

粘着クッションや吸盤が汚れていると、スマートフォンなどのデバイスとの固定力が低下します。

■ 清掃方法

- ・ スキャナー窓

清潔で乾いた柔らかい布、綿棒等で、スキャナー窓の汚れを拭き取ります。汚れた布や指、固い物では決してこすらないでください。強く拭くと傷がつく恐れがありますので注意してください。

- ・ 粘着クッション、吸盤

清潔で、糸くずや繊維が出ないマイクロファイバークロスのような布を水道水で濡らし、水滴がたれないように固く絞り、粘着クッションと吸盤の汚れを拭き取ります。拭き取った後は自然に乾燥するのを待ちます。完全に乾いてからスマートフォンなどのデバイスに吸着させて、固定力が回復していることを確認してください。

拭き取りの際は、製品に水が誤って入らないよう、粘着クッション、吸盤のある面を地面に向けた形で拭くようにしてください。

第2章

各種設定

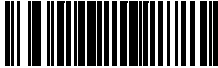
2-1 動作設定

本製品は、本章の設定メニュー（設定用バーコード）を読取ると動作設定を変更することができます。
設定は本製品の不揮発性メモリに保存され、電源を切った後も保持されます。

（各表の★は出荷時設定値となります。）

2-1-1 設定の初期化

HID プロファイルの場合は以下の A1～A4 を、SPP プロファイルの場合は以下の B1～B5 のバーコードを順に読取ってください。

HID プロファイル		SPP プロファイル	
A1		B1	
A2		B2	
A3		B3	
A4		B4	
		B5	

- ・ SPP プロファイルで初期化した場合、HID プロファイルになります。

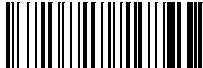
注意

- SPP プロファイルにて通信をしたい場合、再度 SPP プロファイルに変更してください。
- ・ 日時は初期化されません。

2-1-2 プロファイル設定

本製品は、HID プロファイルおよび SPP プロファイルで通信できます。

プロファイル設定をする場合は、HID プロファイルで通信を行う場合は、以下の a1、a2 を、SPP プロファイルで通信を行う場合は、b1、b2 の順にバーコードを読取ってください。

HID プロファイル ★		SPP プロファイル	
a1		b1	
a2		b2	

-
- ・ SPP は Android デバイスのみとなります。

注意

- ・ 本製品でペアリングを解除した場合、デバイスのペアリング情報は削除されず残ることがあります。Bluetooth 機器検索および接続ができない場合には、デバイスのペアリング情報を削除後、再度 Bluetooth 機器の検索を行ってください。
-

2-1-3 ソフトウェアキーボード起動・停止

本製品は、接続先デバイスに合わせた以下のバーコードを読取ることで、接続先デバイスが文字入力待ち状態の場合、ソフトウェアキーボードの起動・停止ができるようになります。

ソフトウェアキーボードの起動・停止は、本製品のスイッチを「O：操作モード」の状態ですべてのボタン・左ボタンのいずれかを押しながら2秒以内に反対側のボタンを3回押すか、またはスイッチを「O：操作モード」から「C：充電モード」に変更してください。

Android デバイス	iOS デバイス
	

- ・ソフトウェアキーボードの起動・停止のボタン操作中にLED光が照射されますので、操作途中でバーコードを読まないように注意してください。ボタン操作が完了するとLED光が消えます。操作途中でバーコードを読んだしまった場合には操作を最初からやりなおしてください。

- ・ソフトウェアキーボードの起動・停止時間はデバイスに依存します。

起動・停止時間に、20秒以上かかる場合があります。

またソフトウェアキーボード起動時に同じ動作をすると、キャンセルされます。

- ・Android デバイスのみ、ソフトウェアキーボード起動時、Bluetooth が切断されます。

またソフトウェアキーボードが起動中はビープ音が鳴り続けます。

ソフトウェアキーボード起動時に、Bluetooth が切断された場合、

ソフトウェアキーボードを停止時に、再接続されます。

なお、iOS デバイスの場合は、ソフトウェアキーボード起動時に、Bluetooth は切断されずバーコードを読取ると iOS デバイスに送信されます。

- ・Bluetooth の接続状態は以下で確認してください。

■LED が赤色点灯の場合：Bluetooth は未接続状態

■LED が消灯の場合：Bluetooth は接続状態

注意

2-1-4 スキャナーモード

本製品は、随時バーコードデータの転送を行う「データ転送モード」とメモリ上にバーコードデータを保持する「メモリモード」の2種類のスキャナーモードがあります。

スキャナーモードの変更を行う場合は、以下のバーコードを読取ってください。

データ転送モード ★	メモリモード
	

注意

- ・モードの変更を行う場合は、メモリ上のバーコードデータを削除してください。
- ・メモリには 1MByte 分のデータを保持できます。

2-1-5 データ転送速度

本製品からデバイスへのバーコードデータの転送速度を 6 段階から選べます。

転送速度を変更する場合は、以下のバーコードを読取ってください。

高速	超低速 1
	
中速	超低速 2
	
低速 ★	超低速 3
	

注意

データ転送時にバーコードデータが欠ける場合は、速度を落としてください。

2-1-6 メモリモード制御

本製品は、メモリに書かれているバーコードデータの送信・保持・クリア制御ができます。
制御を行う場合は、以下のバーコードを読取ってください。
本機能は、メモリモードでのみ有効です。

データ転送時に、メモリ上にあるバーコードデータを保持するまたはバーコードデータを削除する。

データを保持	データを削除
	

メモリに保存されているデータを転送する。



メモリに保存されているデータを全て削除する。



メモリモードでのデータ転送を中断したいときは右ボタン・左ボタンいずれかを
注意 5 秒間長押ししてください。

転送を中断したデータはメモリに保持されます。

2-1-7 省電力モード移行時間

本製品は、一定時間経過後、自動的に省電力モードに移行します。
設定を変更する場合は、以下のバーコードを読取ってください。

省電力モードへ移行を OFF	1 分後に省電力モードへ移行
	
5 分後に省電力モードへ移行 ★	10 分後に省電力モードへ移行
	

2-1-8 バーコード読取り日時情報

本製品は、バーコード読取り時、バーコードデータの終端に読取り日時情報を追加することができます。

例：ABCD, 01/23/2011, 12:34:56

本機能を有効/無効にする場合は、以下のバーコードを読取ってください。

また、バーコードデータと読取り日時の間の区切り文字を変更することができます。

区切り文字は、「,」、タブ、「;」から選べます。

日付情報追加を有効	日付情報追加を無効 ★
	

時間情報追加を有効	時間情報追加を無効 ★
	

[区切り文字]

「,」 ★	タブ	「;」
		

注意

区切り文字のタブは iOS のデバイスのみとなります。Android デバイスの場合は、アプリケーションによりタブ表示方法や扱いが異なり、意図しない動作を起こすことがあります。

2-1-9 日付形式変更

本製品は、日付形式を変更することができます。

日付形式は、「mm/dd/20yy」、「dd/mm/20yy」、「20yy/mm/dd」の3種類となります。

形式を変更する場合は、以下のバーコードを読取ってください。

mm/dd/20yy 形式 ★	dd/mm/20yy 形式	20yy/mm/dd 形式
		

2-1-10 日付時刻

本製品の日付を変更する場合は、以下のバーコードを読取った後、mm/dd/yy 形式で入力します。

mm, dd, yy の値は、「付録-2 数字バーコード一覧 (P. 76)」の項目にあるバーコードを読取ってください。

例：2017 年 12 月 1 日を設定する場合は、「1」、「2」、「0」、「1」、「1」、「7」の順に数字バーコードを読取ってください。



本製品の時刻を変更する場合は、以下のバーコードを読取った後、hh/mm/ss 形式で入力します。

hh, mm, ss の値は、「付録-2 数字バーコード一覧 (P. 76)」の項目にあるバーコードを読取ってください。

例：23 時 59 分 59 秒を設定する場合は、「2」、「3」、「5」、「9」、「5」、「9」の順に数字バーコードを読取ってください。



2-1-11 キーボードレイアウト

本製品を HID プロファイルで使用する場合、記号はキーボードレイアウトに依存します。

キーボードレイアウトは、英語の場合は「10」を、日本語の場合は「71」を指定します。

例：英語で使用できる記号は、@ | \$ # { } [] = / ‘ ¥ < > ~ となります。

キーボードレイアウトを変更する場合は、以下のバーコードを読取った後、XX 形式で入力します。

XX の値は、「付録-2 数字バーコード一覧 (P. 76)」の項目にあるバーコードを読取ってください。

例：英語を設定する場合は、「1」、「0」の順に数字バーコードを読取ってください。



注意

キーボードレイアウトは、HID のみ有効です。

2-1-12 プリフィックス、サフィックス

本製品では、バーコードデータにプリフィックスとサフィックスを加えることができます。

本機能を使用すると、バーコードデータの先頭または終端に任意の制御文字・英数字・記号を追加することができます。追加出来る文字は最大で5文字です。

出荷時設定は、プリフィックス「設定なし」、サフィックス「CR」となります。

プリフィックスとサフィックスの設定は以下1～3の順に行ってください。

1. 以下のプリフィックスまたはサフィックスのバーコードを読取ってください。

プリフィックス	サフィックス
	

2. 追加する文字を16進数のバーコードを読取って設定します。

設定可能な文字と16進数の組み合わせは、「付録-3 プリフィックス、サフィックスコード一覧 (P. 77)」の項目を参照してください。

16進数バーコードは、「付録-4 16進数バーコード一覧 (P. 78)」の項目を参照してください。

3. 追加する文字数が4文字以下の場合、設定終了を示す「X」のバーコードを読取ってください。

「X」は、「付録-4 16進数バーコード一覧 (P. 78)」の項目を参照してください。

注意

追加する文字数が5文字の場合は、5文字を設定した時点で設定が完了します。
そのため、上記3.の手順は不要となります。

設定したプリフィックスおよびサフィックスを削除したい場合は、以下を行ってください。

1. 上記のプリフィックスまたはサフィックスのバーコードを読取ってください。
2. 「0」のバーコードを2回読取ってください。
3. 設定終了を示す「X」のバーコードを読取ってください。

2-2 バーコード読取り設定

本製品は、本章の設定用バーコードを読取るとバーコードの読取り設定を変更することができます。
設定は本製品の不揮発性メモリに保存され、電源を切った後も保持されます。

2-2-1 読取り種別設定

本製品は、バーコードの種別に応じて、読取り有効/無効の選択ができます。設定を変更する場合は、「設定開始」⇒ 以下の種別の「有効」または「無効」⇒「設定完了」の順にバーコードを読取ってください。

一次元種別コード



	有効 ★	無効
EAN-8 (JAN-8)		
EAN-13 (JAN-13)		
ISSN (※出荷時設定は無効)		
ISBN		
UPC-E		
UPC-A		

注意

ISSN、ISBN、UPC-A の読取り設定を無効にしても、EAN-13 (JAN-13) として読んでしまう場合があります。その場合、EAN-13 (JAN-13) の読取り設定を無効にしてください。



一次元種別コード

設定開始


	有効 ★	無効
Code39		
Code93		
Code128		
Codabar (NW-7)		
Interleaved 2of5 (ITF)		
Industrial 2of5		
GS1-Databar		
GS1-128		

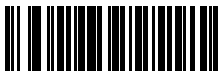
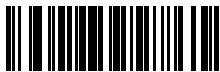
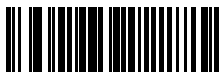
注意

GS1-128 の読取り設定を無効にしても、Code128 として読んでしまう場合があります。その場合、Code128 の読取り設定を無効にしてください。

設定完了


二次元種別コード

設定開始


	有効 ★	無効
QR Code		
Micro QR Code		
DataMatrix		
PDF417		

設定完了


2-2-2 チェックデジット設定

本製品は、バーコードの種別に応じてチェックデジットを取り除くまたは、取り除かない設定が選択できます。設定を変更する場合は、「設定開始」⇒ 以下の種別の「取り除く」または「取り除かない」⇒ 「設定完了」の順にバーコードを読取ってください。



	取り除く	取り除かない ★
EAN-8 (JAN-8)	 0401030	 0401040
EAN-13 (JAN-13)	 0402030	 0402040
UPC-E	 0403030	 0403040
UPC-A	 0404030	 0404040



本製品は、バーコードの種別に応じてチェックデジットの確認方法を以下から選択できます。

1. チェックデジットを確認しない。
2. チェックデジットを確認し、チェックデジットを取り除いた結果を送信する。
3. チェックデジットを確認し、チェックデジットを付加したまま送信する。

設定を変更する場合は、「設定開始」⇒ 以下の種別の「確認しない」、「取り除く」または「取り除かない」⇒「設定完了」の順にバーコードを読取ってください。



	確認しない ★	取り除く	取り除かない
Code39	 0408050	 0408060	 0408070
Codabar (NW-7)	 0409050	 0409060	 0409070
Code93 (※出荷時設定は取り除く)	 0410050	 0410060	 0410070
Interleaved 2of5 (ITF)	 0405050	 0405060	 0405070
Industrial 2of5	 0417050	 0417060	 0417070



2-2-3 アドオンコード設定

本製品は、バーコードの種別に応じて2桁または、5桁のアドオンコード付バーコードを読取ることができます。設定を変更する場合は、「設定開始」⇒以下の種別の「有効」または「無効」⇒「設定完了」の順にバーコードを読取ってください。

2桁アドオンコード



	有効	無効 ★
EAN-8 (JAN-8)	 0401060	 0401050
EAN-13 (JAN-13)	 0402060	 0402050
ISSN	 0421030	 0421040
ISBN	 0416050	 0416060
UPC-E	 0403060	 0403050
UPC-A	 0404060	 0404050



注意

アドオンコード読取りを有効にした場合、メインシンボルのみ読取る事がありますので、確実にアドオンコードを読取りたい場合は「アドオンコード付バーコードに限定する」設定（P. [57](#)）を有効にしてください。

5桁アドオンコード

設定開始


	有効	無効 ★
EAN-8 (JAN-8)	 0401080	 0401070
EAN-13 (JAN-13)	 0402080	 0402070
ISSN	 0421050	 0421060
ISBN	 0416070	 0416080
UPC-E	 0403080	 0403070
UPC-A	 0404080	 0404070

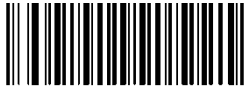
設定完了


注意

アドオンコード読取りを有効にした場合、メインシンボルのみ読取る事がありますので、確実にアドオンコードを読取りたい場合は「アドオンコード付バーコードに限定する」設定 (P. [57](#)) を有効にしてください。

アドオンコード付バーコードに限定する

設定開始


	有効	無効 ★
EAN-8 (JAN-8)	 0401110	 0401120
EAN-13 (JAN-13)	 0402090	 0402100
ISSN	 0421070	 0421080
ISBN	 0416090	 0416100
UPC-E	 0403130	 0403140
UPC-A	 0404110	 0404120

設定完了


2-2-4 スタート/ストップキャラクタ設定

本製品は、バーコードの種別に応じてスタート/ストップキャラクタを取り除くことができます。設定を変更する場合は、「設定開始」⇒ 以下の種別の「取り除く」または「取り除かない」⇒ 「設定完了」の順にバーコードを読取ってください。

設定開始


	取り除く	取り除かない ★
Code39	 0408080	 0408090
Codabar (NW-7)	 0409080	 0409090

設定完了


2-2-5 Code39 フルアスキーコード設定

Code39 では、\$、+、%、/ のいずれかと、その後に続くキャラクターを組み合わせることですべてのアスキーコードをコード化することができます。

設定を変更する場合は、「設定開始」⇒「対応する」または「対応しない」⇒「設定完了」の順にバーコードを読み取ってください。



対応する ★	対応しない
 0408110	 0408100



2-2-6 GS1-DataBar 商品コード識別子設定

GS1-DataBar では商品コード識別子(01)を取り除くことができます。

設定を変更する場合は、「設定開始」⇒「取り除く」または「取り除かない」⇒「設定完了」の順にバーコードを読み取ってください。



取り除く	取り除かない ★
 0413050	 0413060



2-2-7 反転バーコード読取り設定

本製品は、反転バーコード読取りの有効/無効を設定できます。

設定を変更する場合は、「設定開始」⇒「有効」または「無効」⇒「設定完了」の順にバーコードを読取ってください。

設定開始	
	

有効	無効 ★
 0001021	 0001011

設定完了


注意

反転読取りを有効にした場合、読取り速度は若干低下します。

第 **3** 章

仕様

3-1 製品の仕様

スキャナー部	読取コード	一次元	Codabar (NW-7), CODE39, EAN-13/8 (JAN-13/8), UPC-A/E, ISSN, ISBN, Interleaved 2of5 (ITF), Industrial 2of5, CODE93, CODE128, GS1-128, GS1-DataBar
		二次元	QR Code, Micro QR Code, PDF417, DataMatrix
	光源		赤色 LED
	波長		625±10nm
	PCS		0.3 以上
	分解能	一次元	0.127mm
		二次元	0.169mm
キー入力部	キー数		3 キー（タッチセンサー、右ボタン、左ボタン）
LED			緑/赤/橙（読取り表示、充電表示など）
ブザー			読取時、各種エラー時に鳴動
通信部	Bluetooth	適合国際規格	Bluetooth Ver2.1 準拠
		通信方式	スペクトラム拡散方式（周波数ホッピング方式）
		無線周波数	2.4GHz 帯
		送信電力クラス	Class1
		アンテナ	本体に内蔵
		通信距離	最大 10m *1
		プロファイル	HID, SPP *2
USB			Micro-B（充電専用）
寸法			52.4 (W) × 127 (D) × 35.2 (H) mm
質量			88g
本体充電機能			あり（温度保護機能あり）
電源			リチウムイオン二次電池 *3
連続使用時間 *4			約 10,000 スキャン
充電時間			4～5 時間
時計機能			年（4 桁）月日時分秒

環境	使用温度	0℃～50℃
	使用湿度	5～95%RH（ただし、結露無きこと）
	保存温度	-10℃～60℃
	保存湿度	5～95%RH（ただし、結露無きこと）
	照度条件	自然光 100,000lx まで
	RoHS 指令	準拠
耐久性	耐落下強度	1.1m（コンクリートに 6 面各 6 回落下） *5
認証		CE、FCC、TELEC

- *1 安定した通信のためには、本製品と通信相手の間に障害物がない状態で 2m 以内での使用を推奨します。
- *2 SPP は Android デバイスのみとなり、iOS デバイスでは使用できません。
- *3 深い充放電を繰り返すと劣化による容量低下で寿命となることがあります。
- *4 連続使用時間は、下記条件下での実力値です。
0.4 秒待機、1 回バーコード読取り、1 回 Bluetooth 送信、LED ON、ブザー ON くり返し
- *5 試験値であり、保証値ではありません。

第

4

章

よくある質問と回答

4-1 よくある質問と回答

よくある質問やトラブルと、それを解決するために確認する必要のある項目や参照箇所について説明します。

Q：充電できない

■ 本体のスイッチを「C：充電モード」にしていますか？

（「1-2-3 内蔵バッテリーの充電」（P. [19](#)）参照）

■ USB 充電器および Micro USB 充電用ケーブルを正しくセットしていますか？

（「1-2-3 内蔵バッテリーの充電」（P. [19](#)）参照）

■ 充電は周辺温度が 0℃～40℃の範囲で行っていますか？

（「1-2-3 内蔵バッテリーの充電」（P. [19](#)）参照）

■ 省電力モードに入っていないですか？

省電力モードでは LED が表示されません。

スイッチを「O：操作モード」の状態タッチセンサーを 2 秒以内に 3 回触れて

省電力モードから復帰してください。（「1-2-3 内蔵バッテリーの充電」（P. [19](#)）参照）



＜上記の項目を確認しても解決できない場合＞

バッテリーの故障の可能性があります。弊社営業までお問合せください。

Q：デバイスで Bluetooth 機器検索しても本製品が見つからない

■ LED が点灯していますか？

LED が消灯している場合、スイッチが「C：充電モード」になっている、または省電力モードに入っているか他のデバイスと既に接続済みの場合があります。

⇒スイッチが「C：充電モード」の場合、「O：操作モード」に切り替えてください。

⇒省電力モードの場合、スイッチを「O：操作モード」の状態タッチセンサーを 2 秒以内に 3 回触れて省電力モードから復帰してください。（「1-1-2 各部の名称と機能」（P. [13](#)）参照）

⇒デバイスと既に接続済みの場合、スイッチ「C：充電モード」の状態右ボタン・左ボタンを同時に 4～6 秒押して、他のデバイスとの接続を解除してください。

（「2-1-2 プロファイル設定」（P. [43](#)）参照）

■ デバイス側でペアリングの設定が残っていませんか？

本製品でペアリング解除済みにもかかわらず、デバイスのペアリング設定が残っている状態でデバイス検索をした場合、使用可能なデバイスとして本製品が表示されないことがあります。

デバイスに残っているペアリング情報を削除後、デバイス検索を行ってください。

■プロファイルの設定は適切ですか？

iOS デバイスの場合は HID のみ、Android デバイスの場合は HID と SPP となります。

（「2-1-2 プロファイル設定」 (P. [43](#)) 参照）

■プロファイルの設定バーコードを本製品で読み取りましたか？

また、プロファイルの設定バーコードはプロファイル (HID, SPP) ごとに 2 つあります。

2 つとも読み取りましたか？

⇒デバイスでデバイス検索をする際、プロファイルの設定バーコードを読み取ると本製品が見つかりやすくなります。（「1-2-7 Bluetooth 接続」 (P. [24](#)) 参照）

Q : Bluetooth 接続する際、表示される Bluetooth デバイス名がわからない

■本製品のシリアルラベルにある「BT device name」欄を参照してください。

（「1-1-2 各部の名称と機能」 (P. [13](#)) 参照）

Q : Bluetooth が繋がらない

■スイッチが「C : 充電モード」になっていませんか？（「1-1-2 各部の名称と機能」 (P. [13](#)) 参照）

■デバイスの Bluetooth が Ver2.1 で接続可能ですか？

本製品は Bluetooth Ver2.1 で接続します。デバイスが Bluetooth Ver2.1 で接続できるか確認してください。

■本製品のペアリング解除をしていませんか？

本製品でペアリングを解除した場合、デバイスのペアリング情報は削除されず残ることがあります。デバイスのペアリング情報を削除後、再度 Bluetooth 機器の検索を行ってください。

Q : SPP で接続できない

■デバイスは SPP に対応していますか？

デバイスが SPP に対応していない場合、SPP での接続はできません。

※iOS デバイスは SPP に対応していません。

■デバイスから接続していますか？

デバイスのアプリケーションによっては、ペアリング後接続処理を行う必要があります。

Q : Bluetooth を接続したときに、バーコードデータが転送される

■Bluetooth が未接続の状態でバーコードを読み取っていませんか？

データ転送モード、かつ Bluetooth が未接続の状態で、バーコードを読み取った際、

本製品はメモリ上にデータを保存する場合があります。

メモリ上にデータが保存されている場合、接続時にデバイスにデータ転送をします。

※LED が赤色点灯の場合は、未接続状態となります。

Q : バーコードが上手く読取れない

■ 正反射が起こっていませんか？

表面がビニールに覆われている、またはラミネート加工されたバーコードではありませんか？

⇒正反射の角度でなくても読み難いことがあります。角度を変えてお試しください。

（「1-2-9 バーコードの読取り方」（P. [38](#)）参照）

■ バーコードを正しくスキャンしていますか？

分解能と読取り距離には規程がありますので、バーコードのバー/スペースの最小幅に合わせた距離でスキャンしてください。

（「1-2-9 バーコードの読取り方」（P. [38](#)）参照）

■ ラベルの品質は良いですか？

・ラベルの品質が悪いと、正しく読取れない場合があります。以下のような場合は、ラベル品質を改善してください。

- ①薄い印字のバーコード（ドットインパクトプリンタで印字したり、複写伝票のようなバーコード）
- ②汚れたり、印刷の欠けたバーコード
- ③バー/スペースの幅が本製品の分解能を超える細さのバーコード
- ④左右の空白（クワイエットゾーン）のないバーコード（バーコードの左右に文字や罫線のあるもの）
- ⑤印刷が滲んだり細ったりして、バー/スペースの幅が不適切なバーコード
- ⑥湾曲したり、しわの入ったラベル

■ スキャナー窓が汚れていませんか？

スキャナー窓に汚れやゴミが付着すると正常なスキャンができなくなります。

その場合は、乾いた柔らかい布で読取り口を拭いてください。

（「1-3 お手入れのしかた」（P. [40](#)）参照）

Q : バーコードが文字欠けする

■ 転送速度は適切ですか？（「2-1-5 データ転送速度」（P. [45](#)）参照）

■ 読取ったバーコードデータが 500Byte を超えていませんか？

（「必ずお読みください」（P. [1](#)）参照）

Q：バーコードが日本語に変換される

■ デバイスのキーボード設定を英語にしていますか？

（「1-2-8 バーコード読取り確認方法」（P. [31](#)）参照）

■ デバイスの予測変換を無効にしていますか？

（「1-2-8 バーコード読取り確認方法」（P. [31](#)）参照）

Q：デバイスに貼り付かない

■ 貼り付け面が平らになっていますか？

湾曲したり傾いたり段差になっている部分には吸盤や粘着クッションがうまく付かないことがあります。ざらついた面には吸盤がうまく付かないことがあります。

（「1-3 お手入れのしかた」（P. [40](#)）参照）

■ 粘着クッションに汚れが付着していませんか？

軽く水を含んだ布などで表面を清掃すると汚れが取れて粘着力が戻ります。

清掃のときに機器を濡らさないようご注意ください。（「1-3 お手入れのしかた」（P. [40](#)）参照）

■ 吸盤に汚れが付いていませんか？

汚れを取り除いてください。（「1-3 お手入れのしかた」（P. [40](#)）参照）

■ 吸盤の変形、ひび割れ、穴開き、粘着クッションの劣化などがありますか？

吸盤、粘着クッションの交換が必要です。

交換修理をお申し付けください。（「5-2 修理および消耗品」（P. [71](#)）参照）

Q：バーコードデータの転送を中止したい

■ 右ボタン・左ボタンいずれかを5秒間長押ししてください。

転送を中断したデータはメモリに保持されます。（「2-1-6 メモリモード制御」（P. [46](#)）参照）

Q：ソフトウェアキーボードが起動しない、または停止しない

■ 待ち時間は適切ですか？

起動または停止する場合、Bluetoothの切断または再接続が発生することがあり、

20秒近くかかる場合があります。（「2-1-3 ソフトウェアキーボード起動・停止」（P. [44](#)）参照）

第

5

章

保証・修理

5-1 製品保証

■製品保証について

1. 製品の無償保証期間は弊社出荷日より1年となります。ただし、無償保証期間内でも、次のような場合は有償修理となることがありますのでご了承ください。なお、本製品に保証書の添付はございません。
 - シリアル番号の無いものおよび確認できないもの（出荷日の管理が不可能なため）
 - 本書に記載された使用方法および注意事項に反する取扱いによる障害
 - 故意または重大な過失による障害
 - 使用環境が所定条件から逸脱したことによる障害
 - 許可無く、改造または他機器の接続、取付けを行ったことによる障害
 - 災害、地震、水害等の天災地変による障害
 - お客様の作成されたソフトウェアおよびシステムによる障害
 - 使用上避けられない消耗による障害・部品交換（消耗品交換）
2. 本製品の運用の結果生じた損失については、全てに關しての責任を負いかねますので、ご了承ください。

5-2 修理および消耗品

■修理について

修理のご依頼は、弊社ホームページの「カスタマサポート」の「アフターサービス」にある修理依頼票フォームをご利用ください。

<https://www.welcat.co.jp/support/>

■消耗品

消耗品（消耗部品）は、本製品を使用し続けることで性能が低下してきます。製品の使用環境や使用頻度により性能低下までの期間は異なり、使用状況によっては製品の保証期間より短い期間での交換が必要になることがあります（有償）。

- 吸盤（大：3箇所）
- 吸盤（小：2箇所） ※粘着クッションと一体で交換
- 粘着クッション ※吸盤（小）と一体で交換
- クッション
- スイッチ
- 左右ボタン
- 内蔵バッテリー
- ホールプラグ（図）



などが消耗品となります。

付録

付録-1 出荷時設定一覧

設定項目	設定可能範囲	出荷時設定値
プロファイル	HID、SPP	HID
スキャナーモード	データ転送モード、メモリモード	データ転送モード
データ転送速度	6段階	低速
省電力モード 移行時間	無効、1分、5分、10分	5分
バーコード読取り日付 情報追加	無効、有効	無効
バーコード読取り時間 情報追加	無効、有効	無効
バーコードデータと読取り 日時間の区切り文字	「,」、タブ、「;」	「,」
日付形式	mm/dd/20yy、dd/mm/20yy、20yy/mm/dd	mm/dd/20yy
プリフィックス	5文字まで追加可能	設定なし
サフィックス	5文字まで追加可能	CR
各種別コード	有効/無効	ISSNのみ無効 それ以外は有効
<u>EAN-8 (JAN-8) 設定</u>		
チェックデジット	取り除く、取り除かない	取り除かない
2桁アドオンコード	有効/無効	無効
5桁アドオンコード	有効/無効	無効
アドオンコード付に限定	有効/無効	無効
<u>EAN-13 (JAN-13) 設定</u>		
チェックデジット	取り除く、取り除かない	取り除かない
2桁アドオンコード	有効/無効	無効
5桁アドオンコード	有効/無効	無効
アドオンコード付に限定	有効/無効	無効

設定項目	設定可能範囲	出荷時設定値
<u>ISSN 設定</u>		
2桁アドオンコード	有効/無効	無効
5桁アドオンコード	有効/無効	無効
アドオンコード付に限定	有効/無効	無効
<u>ISBN 設定</u>		
2桁アドオンコード	有効/無効	無効
5桁アドオンコード	有効/無効	無効
アドオンコード付に限定	有効/無効	無効
<u>UPC-E 設定</u>		
チェックデジット	取り除く、取り除かない	取り除かない
2桁アドオンコード	有効/無効	無効
5桁アドオンコード	有効/無効	無効
アドオンコード付に限定	有効/無効	無効
<u>UPC-A 設定</u>		
チェックデジット	取り除く、取り除かない	取り除かない
2桁アドオンコード	有効/無効	無効
5桁アドオンコード	有効/無効	無効
アドオンコード付に限定	有効/無効	無効
<u>Interleaved 2of5 (ITF) 設定</u>		
チェックデジット	確認しない、取り除く、取り除かない	確認しない
<u>Industrial 2of5 設定</u>		
チェックデジット	確認しない、取り除く、取り除かない	確認しない
<u>Code39 設定</u>		
スタート/ストップキャラクタ	取り除く、取り除かない	取り除かない
チェックデジット	確認しない、取り除く、取り除かない	確認しない
フルアスキーコード	対応する、対応しない	対応する

設定項目	設定可能範囲	出荷時設定値
<u>Codabar (NW-7) 設定</u>		
スタート/ストップキャラクター	取り除く、取り除かない	取り除かない
チェックデジット	確認しない、取り除く、取り除かない	確認しない
<u>Code93 設定</u>		
チェックデジット	確認しない、取り除く、取り除かない	取り除く
<u>GS1-DataBar 設定</u>		
商品コード識別子	取り除く、取り除かない	取り除かない
<u>反転読取り設定</u>	有効/無効	無効

付録-2 数字バーコード一覧

0	3	6	9
 0	 3	 6	 9
1	4	7	—
 1	 4	 7	
2	5	8	—
 2	 5	 8	

付録-3 プリフィックス、サフィックスコード一覧

[HID時のプリフィックス、サフィックスコード]

HEX	HID	HEX	HID	HEX	HID	HEX	HID	HEX	HID	HEX	HID	HEX	HID	HEX	HID	HEX	HID
01	CTRL A	11	CTRL Q	21	!	31	1	41	A	51	Q	61	a	71	q	80	F1
02	CTRL B	12	CTRL R	22	"	32	2	42	B	52	R	62	b	72	r	81	F2
03	CTRL C	13	CTRL S	23	#	33	3	43	C	53	S	63	c	73	s	82	F3
04	CTRL D	14	CTRL T	24	\$	34	4	44	D	54	T	64	d	74	t	83	F4
05	CTRL E	15	CTRL U	25	%	35	5	45	E	55	U	65	e	75	u	84	F5
06	CTRL F	16	CTRL V	26	&	36	6	46	F	56	V	66	f	76	v	85	F6
07	CTRL G	17	CTRL W	27	'	37	7	47	G	57	W	67	g	77	w	86	F7
08	Backspace	18	CTRL X	28	(	38	8	48	H	58	X	68	h	78	x	87	F8
09	Tab	19	CTRL Y	29	)	39	9	49	I	59	Y	69	i	79	y	88	F9
0A	CTRL J	1A	CTRL Z	2A	*	3A	:	4A	J	5A	Z	6A	j	7A	z	89	F10
0B	CTRL K	1B	ESC	2B	+	3B	;	4B	K	5B	[	6B	k	7B	{	8A	F11
0C	CTRL L	1C	CTRL \	2C	,	3C	<	4C	L	5C	\	6C	l	7C		8B	F12
0D	Enter	1D	CTRL]	2D	-	3D	=	4D	M	5D	]	6D	m	7D	}		
0E	CTRL N	1E	CTRL ^	2E	.	3E	>	4E	N	5E	^	6E	n	7E	~		
0F	CTRL O	1F	CTRL _	2F	/	3F	?	4F	O	5F	_	6F	o				
10	CTRL P	20	SPACE	30	0	40	@	50	P	60	`	70	p				

[SPP時のプリフィックス、サフィックスコード]

HEX	SPP	HEX	SPP	HEX	SPP	HEX	SPP	HEX	SPP	HEX	SPP	HEX	SPP	HEX	SPP
01	SOH	11	DC1	21	!	31	1	41	A	51	Q	61	a	71	q
02	STX	12	DC2	22	"	32	2	42	B	52	R	62	b	72	r
03	ETX	13	DC3	23	#	33	3	43	C	53	S	63	c	73	s
04	EOT	14	DC4	24	\$	34	4	44	D	54	T	64	d	74	t
05	ENQ	15	NAK	25	%	35	5	45	E	55	U	65	e	75	u
06	ACK	16	SYN	26	&	36	6	46	F	56	V	66	f	76	v
07	BEL	17	ETB	27	'	37	7	47	G	57	W	67	g	77	w
08	BS	18	CAN	28	(	38	8	48	H	58	X	68	h	78	x
09	HT	19	EM	29	)	39	9	49	I	59	Y	69	i	79	y
0A	LF	1A	SUB	2A	*	3A	:	4A	J	5A	Z	6A	j	7A	z
0B	VT	1B	ESC	2B	+	3B	;	4B	K	5B	[	6B	k	7B	{
0C	FF	1C	FS	2C	,	3C	<	4C	L	5C	\	6C	l	7C	
0D	CR	1D	GS	2D	-	3D	=	4D	M	5D	]	6D	m	7D	}
0E	SO	1E	RS	2E	.	3E	>	4E	N	5E	^	6E	n	7E	~
0F	SI	1F	US	2F	/	3F	?	4F	O	5F	_	6F	o		
10	DLE	20	SPACE	30	0	40	@	50	P	60	`	70	p		

付録-4 16進数バーコード一覧

0	4	8	C
 0	 4	 8	 C
1	5	9	D
 1	 5	 9	 D
2	6	A	E
 2	 6	 A	 E
3	7	B	F
 3	 7	 B	 F
—	—	—	X
			 X

スマートフォン着脱式バーコードリーダー
ユーザーズマニュアル

2018 年 12 月 第 2 版発行

Copyright 2018 Welcat Inc.

株式会社ウェルキャット

<https://www.welcat.co.jp/>

info@welcat.co.jp

M02iDC9277LB